

鈴木 章本学名誉教授ノーベル化学賞受賞を讃えて

本学の名誉教授である鈴木章先生の2010年ノーベル化学賞受賞を讃えて、平成23年度において以下のような出来事がありました。

- ①総合博物館では、鈴木先生の本学における触媒研究の歴史をご紹介するため、1階展示室「Lofty Ambition: A Time Line」コーナーに、記念メダルレプリカや鈴木名誉教授が実際に使用されていた机などを設置し、リニューアルした常設展示を公開しています。この常設展示の効果もあり、総合博物館は平成23年10月に累計入館者数70万人を達成しました。
- ②学部第1年次学生が履修する「全学教育科目・自然科学実験」で、特に優秀な成績を修めた学生を表彰する「北海道大学鈴木章科学奨励賞－自然科学実験－」を新設、第1回被表彰者を決定・表彰しました。これまで、理系科目で、著しい学習成果を修めた学生に対する表彰制度はありませんでした。
- ③鈴木先生より北大フロンティア基金へご厚志をいただいたことを契機として、教育・研究等の幅広い支援を図るために「鈴木章受賞記念プロジェクト」を立ち上げました。工学部においても、国際化をより一層推進するための教育・研究環境の充実を目的として「北大工学部鈴木章記念事業」を創設しています。

他にも、北海道出身の造形家、榎原北悠氏が制作した記念レリーフ像が作成され、鈴木先生の卒業された理学部に掲げられるなど、本学での鈴木先生の研究成果が、ノーベル賞受賞に結び付いたことが本学教員・学生の誇りであり励みとなっています。



サステナビリティ・ウィーク2011の開催

北海道大学サステナビリティ・ウィークは、2011年に節目となる5年目を迎えました。東日本大震災直後の開催であったことから、自然の猛威と常に隣り合わせにある「持続可能な社会」とはどのようなものなのかを考えようと、テーマを「再考」としました。本テーマならびに節目の年にふさわしい36行事が10月24日（月）から11月6日（日）までの2週間に開催されました。この前後期間に開催されたものを合わせると約50もの行事が札幌キャンパスに集いました。

行事の形式は実に多様で、国際シンポジウムや市民向けセミナー、映画上映、ディベート大会、展示、研究ポスターコンテスト、ラジオ放送から、学生が主催するアイデアコンテスト、キャンドル・ナイトそして自転車タクシーの運行もありました。

